特集

グリーン・ツーリズムで見つけた！
大村の温かな「時感（じかん）」

山田巨峰園
桜木の宿

自然と歴史が息づく場所で四季折々の大村を温かな「時感」とともに

グリーン・ツーリズムで「農家民泊」

田舎に滞在しながら、地元の皆さんとの交流や体験を楽しみ、その地ならではの風土を味わうグリーン・ツーリズム。大村にも、さまざまな体験ができる場所があります。

水と緑に囲まれた大村は、体験農園が点在します。ブドウやイチゴ、ナシ、ブルーベリーなどいろいろなフルーツ狩りを楽しむことができ、休日にのんびりと過ごすには絶好の場所です。

また、グリーン・ツーリズムに取り組む農家の皆さんが、田舎暮らしを体験してもらおうと、「農家民泊」の取り組みを行っています。農業体験や地元の料理を楽しめるだけでなく、心温まる出会いがそこにはあります。

今回は、「農家民泊」に取り組んでおられる皆さんに、ゆったりと温かな時間を感じながら、お話をうかがいました。今度の休日、家族でのんびり過ごしてみませんか。

「見る観光」から「体験・参加する観光」へ。大村が取り組むグリーン・ツーリズム

詳しい内容や問い合わせ先は、パンフレットや大村市グリーン・ツーリズム推進協議会のホームページをご覧ください。

■同協議会事務局（シュシュ内）☎㊺5288
http://www.oomura-gts.com/

フルーツの里ふくしげ

農業体験

大村インターチェンジを降り、レインボーロードを北に走ると「フルーツの里ふくしげ」があります。周辺では8月中旬～10月上旬ごろまでブドウ、ナシ狩りが、12月～5月まではイチゴ狩りが楽しめます。丹精込めて作られたフルーツは、甘くておいしいと評判です。

農家に泊まれば笑顔のおもてなし

農家民泊

田舎暮らしが体験できます。地元の旬の食材を使った郷土料理や、農家のご家族の温かい笑顔でおもてなし。どこか懐かしく、ほっとする農家民泊は、市内8軒が受け入れを行っています。自然を感じながら、ご家族との交流で癒しのひとときを。

おおむら夢ファームシュシュ

食育体験教室

おおむら夢ファームシュシュでは、子どもから大人まで楽しめる食育体験教室が人気です。地産地消、長崎県産にこだわって、その材料を使った体験教室が行われています。また、食の大切さ、安全など、地元の食材を通して学ぶことができます。

グリーンパーク岩本園

岩本康敏さん｜東野岳町

広い敷地にはミニゴルフ場やテニスコート、草スキー場を完備。自然をたっぷりと楽しむことができます。手入れの行き届いた四季の草花に癒されてみませんか。

村のかじ屋匠の宿

田中勝人さん｜松原本町

モノづくりの現場見学や、オリジナルの刃物作りを体験できます。500年の伝統を受け継ぐ松原鎌・包丁のかじ屋さんで歴史を感じてみては。

田舎の隠れ家

山口成美さん｜弥勒寺町

立派な梁が特徴のお宿。田舎の隠れ家気分で奥さんの作るおいしい手料理と楽しい時間をどうぞ。夏にはブルーベリー畑でもぎ取り体験ができます。

ぶどう倶楽部 山田巨峰園桜木の宿

山田武人さん｜今富町

築100年のお宿。時代を伝える置物が今も残っています。ブドウ狩りのほか、特製ジュースもいただけます。サクラの木の下で素敵な時間を過ごしませんか。

夢もみじ

秀山隆一さん｜福重町

土いじりや家庭菜園を楽しみませんか。お宿から平野に広がるナシやブドウ園を眺めることができます。新鮮な野菜を使った郷土料理でお待ちしています。

お宿姫小松

川本康代さん｜寿古町

キュウリや四季折々の野菜を栽培していて、収穫体験もできます。地域の郷土芸能「寿古踊」の着物に描かれる裾模様の姫小松から屋号をとりました。

陽だまりの宿

寺坂智子さん｜沖田町

野菜の収穫体験などができます。秋には赤とんぼと夕日の風景が、懐かしい気持ちに馳せられます。親戚の家に帰ってきたような心温まるお宿です。

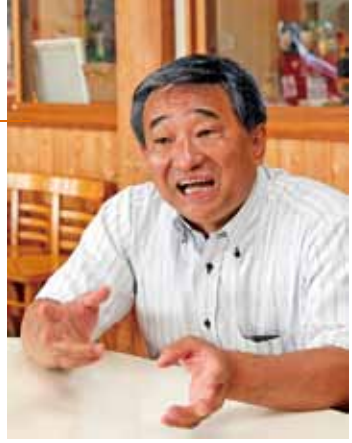
トマとっとHouseいまみっちゃん

今道正文さん｜今津町

10種類のトマトやスイートコーン、ブルーベリーなど一年を通して色とりどりの野菜を栽培しています。収穫した野菜でフレッシュジュース作りを楽しめます。

Interview

笑顔は全世界共通
大村の魅力を伝える民泊



大村市グリーン・ツーリズム
推進協議会会長

山口 成美さん

農家民泊を始めて約4年。市内8軒で年間約450人を受け入れています。大村の魅力を全国に伝えたいと思ったのがきっかけでした。県内外いろいろなところからお越しになるので、全国各地に友達ができました。

最近は、海外からの民泊者が増えています。最初は戸惑いましたが、言葉は通じなくても心は通じ合えます。笑顔は全世界共通。いろいろな方法で意思疎通しながら、交流を楽しんでいただいています。農業をやっていて、まさか海外との交流を行うとは、誰も夢にも思っていなかったはずです。

民泊で交流した人たちからは、帰郷後連絡をいただいたり、お礼の品をいただいたりと、まだ交流は続いています。皆さんに大村を印象づけられた結果です。これからも、交流を楽しみながら大村の魅力を伝え、滞在型観光に貢献できればと思っています。

ブドウ園を経営しながら民泊者の受け入れを行っています。ブドウ狩りや福重の自然を楽しんでいただいて、春にはサクラが咲き誇る「桜木の宿」でゆっくりしていただいています。宿は築百年の小屋を改築し、面影を残しつつ風情を感じられる空間を提供しています。

民泊の良いところは、宿泊者との交流が楽しめるところ。都会にはない田舎の古い家の雰囲気と、地元の食材をふんだんに使った郷土料理は、民泊者にも好評です。私たちは、一緒に夕食を囲んで交流し、その時の出会いを大切にしています。

大村はとてもいいところですが、来ていただかないとその良さは伝わりません。これからフルーツが旬を迎えます。ブドウ狩りなどを楽しんだ後に農家民泊するような、地域の力で連携してアピールしていきたいと考えています。

大村市グリーン・ツーリズム
推進協議会監事

山田 武人さん

都会にはない古い家の
雰囲気を味わってほしい

Interview

グリーン・ツーリズムな一日♪

体験する

大村産の豚肉を使用した
手づくりウインナーを体験!

感じる

実りの季節を感じながら
大粒のブドウ狩り!
直売所もあちこちに。

食べる

地元食材を使った郷土料理の
おもてなしで手料理を満喫!
一緒に食べて交流を。

泊まる

離れの宿泊部屋。
落ち着いた空間で
ゆったりとしたひとときを!

農家民泊オーナー×松本市長

どこでん市長室

松本市長【市】　農家民泊の施設を視察させていただいたが、現状をお聞かせください。

農家民泊オーナー【民】　いろいろな人たちとの出会いがあって楽しくやっています。最初は不安もありましたが、思いもよらぬ人たちとの交流は大変楽しく、思い出深いものです。

【市】　手料理を振る舞ったり、奥さまたちは大変でしょう。

【民】　最初は気構えていましたが、普段の食事が一番気に入ってもらえることがわかりました。現在は、シュシュで農業・食育体験などを行った後、夕方から農家宅で夕食を振る舞い交流・民泊し、翌日はまたシュシュで案内してもらうので、本業の農業に負担がかからないスタイルです。

【市】　農家の皆さんが観光に携わっていただいていることに感謝します。

【民】　大村の特徴は、民泊オーナーの年代が50代と若いところ。今後も長く続けていけると思いますし、よりよいおもてなしができるように、他の地域の取り組みを視察に行って勉強してみたいです。

【市】　環境の違うところを見るのはとても重要で、勉強になるものです。

【民】　最近は、台湾やシンガポールからのお客が増え、意思疎通が大変ですが、スマホやジェスチャーでなんとかなるものです。

【市】　外国語が得意な人などを市内で何人かリストアップして、通訳などで活用できればいいですね。ところで、農家民泊はどのようにPRしているのですか。

【民】　パンフレットが昨年できました。大学生の協力で海外向けのパンフレットも作成中です。修学旅行などの受け入れなども視野に入れています。

【市】　国体の開催も間近になり、宿泊施設が足りていないのが現状。応援団の方など、民泊で受け入れができればいいですね。

【民】　姉妹都市のホームステイも、民泊して交流してもらえれば、思い出に残ると思います。また、地元の人たちにも体験してもらい、地元の良さを再発見してほしい。

【市】　グリーン・ツーリズムをまず、市民の皆さんにも知ってほしいですね。大村の技術開発や先進的なこのような取り組みをもっと海外も含めてPRしていきます。大村の農家民泊が他の地域のモデルになればすばらしいですね。

実りの秋 到来!

フルーツの里ふくしげ

自然の中でフルーツ狩りを楽しみませんか?

ブドウ ▶ **9月中旬まで**

ナ シ ▶ **9月下旬まで**

今年のできはどうですか?

山田巨峰園

山田 信子さん

今年の夏は天気が良かったこともあり、甘みが凝縮されています。昼夜の気温差が大きかったので、色づきを調整するのに苦労しました。糖度にこだわっていますので、福重のフルーツは甘くておいしく実っていますよ。皆さんのお越しをお待ちしています!